

「茅の輪守り」

(ちのわまもり)

授与所にて期間限定頒布中 (お初穂五百円)

「茅の輪守り」は、神社参道に設けている茅の輪を小さく造ったものです。残り半年が家内安全で無病息災であるように祈願されています。家の玄関にお飾りください。

【茅の輪の由来】

『備前風土記』の蘇民将来 (そみんしょうらい) の伝承によります。善行をした蘇民将来 (そみんしょうらい) が武塔神 (むとうのかみ) (素盞鳴尊) すさのおのみこと) から「もしも疫病が流行したら、悪疫除去のしるしとして、茅の輪を腰につけると免れることができる」といわれ、疫病から免れることができたという伝承です。

